

JIS

電子製版画像データ交換用タグ付き ファイルフォーマット (TIFF/IT)

JIS X 9205 : 2005
(ISO 12639 : 2004)

平成 17 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石 崎 俊	慶應義塾大学
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	伊 藤 章	財団法人日本規格協会
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	小 川 義 久	財団法人日本情報処理開発協会
	笥 捷 彦	早稲田大学
	河 内 浩 明	社団法人電子情報技術産業協会
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	小 町 祐 史	パナソニックコミュニケーションズ株式会社
	関 根 千 佳	株式会社ユーディット
	田 中 謙 治	総務省
	中井川 禎 彦	総務省
	中 村 泉 之	日本銀行
	成 田 博 和	富士通株式会社
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	伏 見 諭	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 泰	日本アイ・ピー・エム株式会社
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	渡 辺 裕	早稲田大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 11.11.20 改正：平成 17.11.20

官 報 公 示：平成 17.11.21

原案作成協力者：財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット情報電気標準化推進室(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:qqgcbd@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS X 9205:1999** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 12639:2004**, Graphic technology – Prepress digital data exchange – Tag image file format for image technology(TIFF/IT)を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS X 9205 には、次に示す附属書がある。

- 附属書 A (参考) 適合レベルの背景
- 附属書 B (参考) ファイルタイプの識別及び決定手順
- 附属書 C (参考) カラーページ上の画像タイプの関係
- 附属書 D (参考) アルファベット順 TIFF/IT フィールド一覧
- 附属書 E (規定) JPEG 圧縮データの TIFF/IT への組込み
- 附属書 F (規定) Flate 圧縮データの TIFF/IT への組込み
- 附属書 G (規定) TIFF/IT-CT での RGB 色空間データ
- 附属書 H (規定) TIFF/IT-CT での LAB 色空間データ
- 附属書 I (参考) 色値
- 附属書 J (規定) TIFF/IT 画像での ICC プロファイル
- 附属書 K (参考) 単色階調画像の色値計算

目次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 適合レベル及び適合レベル表示	1
2.1 一般	1
2.2 画像ファイルタイプの適合表示	2
2.3 TIFF/IT 適合レベル	2
2.4 TIFF/IT-P1 適合レベル	2
2.5 TIFF/IT-P2 適合レベル	2
2.6 適合レベル表示	3
3. 引用規格	3
4. 定義及び略号	3
4.1 定義	3
4.2 略号	5
5. 表記及びフィールドタイプ	5
5.1 表記	5
5.2 フィールドタイプ	6
6. 画像データタイプ記述	7
6.1 カラー連続調画像データ	7
6.2 線画画像データ	7
6.3 高解像度連続調画像データ	7
6.4 単色階調画像及び2値画像	7
6.5 ファイナルページファイルデータ	8
7. TIFF/IT ファイルに対する要求事項	8
7.1 TIFF/IT ファイルの構造	8
7.2 フィールド構成パラメタ	10
7.3 カラー連続調画像ファイル (CT)	21
7.4 線画画像ファイル (LW)	24
7.5 高解像度連続調画像ファイル (HC)	30
7.6 単色階調画像ファイル (MP)	33
7.7 ビットマップ2値画像ファイル (BP)	35
7.8 ランレングス2値画像ファイル (BL)	37
7.9 網点画像ファイル (SD)	39
7.10 ファイナルページファイル (FP)	41
附属書 A (参考) 適合レベルの背景	47
附属書 B (参考) ファイルタイプの識別及び決定手順	49

	ページ
附属書 C (参考) カラーページ上の画像タイプの関係	52
附属書 D (参考) アルファベット順 TIFF/IT フィールド一覧	53
附属書 E (規定) JPEG 圧縮データの TIFF/IT への組込み	55
附属書 F (規定) Flate 圧縮データの TIFF/IT への組込み	57
附属書 G (規定) TIFF/IT-CT での RGB 色空間データ	59
附属書 H (規定) TIFF/IT-CT での LAB 色空間データ	63
附属書 I (参考) 色値	66
附属書 J (規定) TIFF/IT 画像での ICC プロファイル	67
附属書 K (参考) 単色階調画像の色値計算	68
参考文献	71
解 説	72

白 紙

電子製版画像データ交換用タグ付き ファイルフォーマット (TIFF/IT)

Graphic technology—Prepress digital data exchange— Tag image file format for image technology(TIFF/IT)

序文 この規格は、2004年に第2版として発行された ISO 12639, Graphic technology—Prepress digital data exchange—Tag image file format for image technology(TIFF/IT)を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

1. 適用範囲 この規格は、製版用電子データ交換のための伝達媒体に依存しないタグ付き画像ファイルフォーマットについて規定する。この規格は、カラー連続調画像(CT, colour continuous-tone picture image), 線画画像(LW, colour line art image or line-work image), 高解像度連続調画像(HC, high-resolution Continuous tone image), 単色階調画像(MP, monochrome continuous tone picture image), ビットマップ2値画像(BP, binary picture image), ランレングス2値画像(BL, binary line art image or run length encoded bitmap image), 網点画像(SD, screened data image)及びファイナルページファイル(FP, final page file)を符号化するための画像ファイルフォーマットを定義する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide21に基づき、IDT(一致している)、MOD(修正している)、NEQ(同等でない)とする。

ISO 12639:2004, Graphic technology—Prepress digital data exchange—Tag image file format for image technology(TIFF/IT) (IDT)

2. 適合レベル及び適合レベル表示

2.1 一般 この規格は、三つの適合レベルをもつ。すなわち TIFF/IT (フル TIFF/IT ともいう。), TIFF/IT-P1 及び TIFF/IT-P2 を設ける。三つの適合レベルとも、製版、印刷、グラフィックアーツ及び情報処理分野で用いられる各種画像の伝達媒体に依存しない交換手段を提供する。

TIFF/IT-P1 適合レベルは、より簡単な実装を実現すると同時に、CT, BP 及び MP ファイルに対して、既存の TIFF の入力システム又は出力システムとの互換を可能にする一つの最小構成機能を提供する。

TIFF/IT-P1 適合レベルは、TIFF/IT の全機能を必要としない場合の使用を目的にしている。

TIFF/IT-P2 適合レベルは、TIFF/IT 適合レベルの部分集合である。TIFF/IT-P2 適合レベルは、TIFF/IT-P1 適合レベルで定義されているすべての機能(options)を包含し、更に、特色(spot colour), LW の大きな色数、網点データに対する SD ファイルフォーマット及び圧縮方法を提供する。

この規格に適合する実装は、この規格で定義する TIFF/IT フィールドだけを書き込み、認識し、解釈する必要はある。この規格に適合する実装にとって、この規格で分類されていないか又は参照されていない